

茅ヶ崎市記者発表資料
 2026年2月19日
 企画政策部総合政策課長 岩井 晶佳
 電話0467(82)1111 内線2519

まちの持つ力を最大限活かし、元気で持続可能なまちであり続けるために

－令和8(2026)年度施政方針の概要－

佐藤光市長は、2月24日(火)の市議会定例会で、令和8(2026)年度施政方針演説を行い、行政運営の基本方針を明らかにします。

施政方針の骨子

○ 令和8(2026)年度は、「茅ヶ崎市実施計画2030」がスタートする年であり、実施計画2025で取り組んできた事業を磨き上げつつ、本市が元気で持続可能なまちであり続けるために、次の3つの視点を中心に取り組みを展開する。

◆ 令和8(2026)年度の主要な事業

視点1 まちの長所を活かした更なる魅力アップ

このまちが持つ資源や特性といった強みをさらに伸ばし、活用することで、活力と魅力の向上を図り、まちの元気をつくる。

- 民間事業者による小学校水泳指導
- サステナトレセン Project.
- 茅ヶ崎海岸グランドプランの推進
- 漁業特産物の振興支援
- 本市ゆかりのアスリート・ホームタウンチームによるスポーツの魅力発信 など

視点2 人口減少・高齢化がもたらす課題への対応

人口減少や高齢化により生じる課題に対応することで、安心して暮らし続けられるまちをつくる。

- フレイルチェックや転倒予防教室による介護予防・地域介護予防活動における重層的支援体制の整備
- 低栄養者などへの個別的支援による重症化予防
- 介護人材の養成・マッチング支援
- 公共施設予約サービスの機能向上 など

視点3 先を見据えた対策を講じる

中・長期的に対応すべき課題に今から着実に取り組むことで、茅ヶ崎が2030年の先も持続可能なまちとなるよう未来への備えを講じる。

- 松林コミュニティセンターの整備・運営
- 洪水・土砂災害・内水ハザードマップの更新
- 災害時における小・中学校開錠設備の設置
- AIによる災害時 SNS 情報のリアルタイム収集ツールの導入 など

※詳細は、施政方針13ページ以降の「令和8(2026)年度主要な事業の概要」を参照ください。